

あす希望の発足

「淀江町」と「大山町」

西伯郡淀江町と大山町の二カ町はあす一日いよいよ新発足、希望の第一歩を踏み出す。

新淀江町は淀江、宇田川、大和三カ町村に高麗村から分村の今津部落を含めて合併、役場は現在の淀江町役場を使うほか大和支所を置き、町面積は二五・七九平方キロ

人口九、三八八人、戸数一六三二世帯で町議定員は三名(淀江区一名、大和区六名、宇田川区五名、今津区一名)となる。この新町五カ年計画は淀江中学校の増築七〇万円、宇田川小学校の増築二六〇万円、佐佐川改修二九〇万円、簡易水道施設八〇〇万円など総額七〇〇万円に上る事業が見込まれている。

▲50年前の新「淀江町」誕生の記事が掲載
山陰日日新聞(昭和30年8月31日)

昭和30年9月1日、高麗村今津、淀江町、宇田川村、大和村の3町村1地区が合併し、現在の淀江町が誕生しました。それから半世紀—さまざまな淀江町の歴史が刻まれました。

昭和の合併

淀江町誕生から半世紀 そして新「米子市」誕生

平成15年4月1日米子市・淀江町が法定合併協議会を設置し、平成15年6月6日から平成17年2月14日までの1年8か月をかけて全22回の合併協議会で合併に向けての協議を行いました。



平成16年9月20日には、米子市・淀江町合併協定調印式が行われ、米子市長と淀江町長が合併協定書に調印を行いました。(写真左から渡辺議長、野坂市長、平井副知事、田口町長、生田議長)

新「米子市」

その後は県知事への合併申請を経て、国への手続きがされ、平成17年1月17日総務大臣の告示により米子市と淀江町が正式に合併することが決定しています。(平成17年3月31日新「米子市」誕生)

淀江町には古代から先人が築いてきた文化的資産と豊かな自然の恵みがあります。これらの素晴らしい淀江の象徴を次世代へと引き継ぎ、新たな淀江の歴史を創っていきましょう。
淀江地域のさらなる発展を願って—